

令和6年度 神奈川大学の留学生との交流会について

1 交流会の概要

本校は神奈川大学との間で高大連携の協定を結んでおり、本校生徒と神奈川大学の留学生との交流事業は3年目を迎えた。

(1) 実施日時 令和6年11月29日（金） 13:50～16:30

(2) 実施場所 神奈川大学 みなとみらいキャンパス

(3) 時程の詳細

13:50 マークイズ・横浜美術館前広場前集合

14:20 神奈川大学みなとみらいキャンパス1F

14:25～14:35 (10) オリエンテーション

14:35～15:10 (35) キャンパスツアー

15:10～15:20 (10) 休憩

15:20～16:10 (50) 留学生交流

16:10～16:20 (10) アンケート・解散

(4) 参加生徒の人数など

新型コロナウイルスの影響で、実際に現地に行く機会がなかった。オーストラリアやニュージーランドの姉妹校交流委員の生徒を中心に、総勢20名の希望者が参加した。当日は大学が通常授業の日だったので、大学生達のいる普段のキャンパスの様子を見ることができた。

2 英語での交流

生徒を事前学習で4班に分け、班ごとにプレゼンテーション内容を決め、発表用スライド等を作成、英語によるプレゼンテーションのリハーサルを行った。

(1) 用意したプレゼンテーションのテーマ

- ・グループ① 「日本のスポーツ」
- ・グループ② 「日本の郷土料理」
- ・グループ③ 「四季ごとの観光地」
- ・グループ④ 「日本のアニメ」

(2) 事前学習会

- ・10月16日（水）、10月30日（水）と11月20日（水）に実施した。
- ・10月30日（水）のリハーサルでは、発表スライドの内容を確認し、次回のリハーサルまでに修正箇所を確認するとともに、英語によるスライドの説明に慣れる練習を行った。
- ・11月20日（水）のリハーサルでは、発表スライドの修正を確認するとともに、交流会当日の時程の確認を行った。

3 交流会当日の様子

- ・交流会の前半は、みなとみらいキャンパスのキャンパスツアーを行った。
- ・キャンパスツアーは神奈川大学の学生が案内を行った。
- ・交流会において当初はグーグルスライドを活用して、本校生徒からのプレゼンテーション、そして質疑応答の予定だったが、各グループごとのフリートークとなった。海外に関心の高い本校生徒、日本に関心のある留学生ということで、話題は食文化、流行、言語等多岐にわたり、大いに盛り上がった。生徒にとっては用意した英語を話すのではなく、その場で聞き取り、その場で英語を考える展開となつたが、よく頑張っており、英語で十分に交流できていた。

「キャンパスツアーの説明の様子」



「留学生との交流の様子」



4 事後の振り返り

交流会の実施後、生徒に交流会の振り返りアンケートを実施した。

【交流会の振り返りの主な回答】

●生徒A

1番印象的だったのは神奈川大の留学生の方が、自分の第一言語でもないのに英語をすごく喋れていたことです。自分ももっと頑張らなきゃだなと思いました。色々な国の文化も知れて楽しかったです。

●生徒B

さまざまな国籍の留学生と交流をすることができて、発音の違いや話し方の違いについて気づくことができてよかったです。また、英語での話の膨らませ方を海外の方々と話したり、交流していくことを通じて学んでいきたいと考えました。

●生徒C

留学生の方は英語をつなげて話すので普段あまり聞かないような速さの英語を聞くことができた。文全体がしっかりと聞き取れなかつたとしてもある程度の単語を聞き取ればどん

なことを言っているか理解できた。海外の人は文章の中で大事なことはしっかりと強く話していると感じた。いろんな国の人といろんな会話ができるで楽しかった。その国の食べ物だったり日本との違いなどを知ることができた。自分の話している英語がしっかりと伝わると嬉しかった。海外の人はリアクションが大きいので話していくで楽しかった。食べ物では日本にあるお店なども紹介してくれて興味が湧いた。海外の人から見て大変だったりする日本の文化も知ることができた。

●生徒D

留学生の方々それぞれの出身地ごとの食文化を知れたことは勉強になりました。その国や地域の有名な食べ物からその方の好きな日本食なども知ることができて食の話題は国を超えて盛り上ることが改めて分かりました。留学生の方々がとても優しく、私たちが英語で伝えようとしていることを汲み取ってくださいました。そのおかげで楽しく安心して話すことができました。本来プレゼンを行った後に余った時間で話す予定だったのでうまく話せるか不安でしたがプレゼン無しで全部の時間話し続けられたので良かったです。

●生徒E

今回交流をしてみて、話している英語を理解できたり、伝えたいことを英語で話せて自分の自信に繋がりました。逆に、これなんて言うんだろうって思った単語とかを調べたりして勉強になったし、相手の話している英語がわからなかったときにもっと英語を勉強しないといけないなと思いました。

5. 今後の展望

生徒は英語学習を懸命に頑張っているものの、今回の機会ほど大量の英語を話したり、聞き取ったりすることはなかなかない。本当に貴重な機会を毎年設けて頂いている神奈川大学にはこの場を借りて感謝申し上げたい。今回はより多くの留学生の方が参加してくれたことで様々な国の留学生と本校生徒が国際交流することができた。参加した生徒たちの中には3月にオーストラリアの姉妹校訪問を予定している生徒たちもいる。それに向けても大変良い学習の機会となった。引き続き、令和7年度も留学生との交流をぜひ継続していきたい。

「集合写真」

